

令和2年度第1回（第29回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和2年6月29日（月）13:30～15:45
場 所	魚沼市役所 本庁舎 議会会議室
出席委員	21名（うち代理出席4名） ※別紙、出欠名簿のとおり
欠席委員	4名
事務局	7名
傍聴者	1名
会議次第	1. 開 会 2. 開会あいさつ 3. 報 告 1)（資料No.1）令和元年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について 2)（資料No.2）令和元年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について 3)（資料No.3）市役所移転に伴う規約の改正について 4) その他 4. 議 事 1)（資料No.4）令和元年度協議会事業報告及び決算について 2)（資料No.5）生活交通確保維持改善計画（フィーダー系統）（案）について 3)（資料No.6）地域公共交通計画の策定について 4) その他 5. その他 6. 閉 会
会議結果	原案のとおり、承認・決定された。
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1. 開 会

2. 開会あいさつ（佐藤会長）

3. 報 告

1)（資料No.1）令和元年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について

【報告1について説明（事務局）】

【質疑、意見等】

○宮腰副会長（長岡工業高等専門学校）

・小出地域乗合タクシーの利用がここ2年増加している。どうしてこのように利用者数が伸びているのか教えてほしい。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・担当業者の小出タクシーですが、増加した主な要因として、免許返納をした高齢者の

利用が増えている。また、タクシー車内においては、タクシーの移動は経済的に大変だというお客様の声もあり、そうすると乗務員が300円で移動できる乗合タクシーのPRを行っている。

○宮腰副会長（長岡工業高等専門学校）

・PRは中々難しいところで、乗らないと分からない。新庁舎がオープンしたとき、無料で乗っていただいたようだが、反応などはどうだったか。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・無料お試し期間については、タクシーでも乗務員がPRを行った。無料お試しだから乗車体験してみようときっかけ作りにもなった。毎年、1週間でも2週間でも無料お試し期間を続けて設ければ、利用者の増加につながっていくと思う。

○事務局

・5月7日から5月末まで無料お試し期間を設けて運行した。民生委員さんや集落支援員さんかも高齢世帯への見守りの中で、働きかけをしていただいた。利用者数については、前年同程度の利用者数であり、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、皆さんが慎重な行動をとったものと考えている。また、高齢者を見守る立場の方からは、今回の乗車体験を通じて、乗合タクシーの便利さ理解できたし、今まで以上に高齢者への説明がし易くなったという感想をいただいている。

○佐藤会長（魚沼市長）

・免許返納者の増加率等はどうなっているか。

○事務局

・前年対比129%となっている。

○大田委員（新潟運輸支局）

・赤土乗合タクシーの稼働率32%となっている。利用者数実績の中で、前年比277.1%となっており今後稼働率が向上してくるということによろしいか。

○事務局

・赤土線については、令和2年度から小出市街行きということで、水曜と金曜日に1往復の運行を開始した。昨年度の実証運行を通じて移動需要があることが分かったので、稼働率が向上してくることを考えている。

2) (資料No.2) 令和元年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について

【報告2について説明（樫沢委員）】

【質疑、意見等】

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・1時間当たりの運行経費が上がっているようだが、要因は何か。

○樫沢委員

・車両が1台増えたためである。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・入広瀬乗合タクシーから入広瀬コミュニティバスへの変更になったとき、運行経費を削減できる旨の説明があった。事業者の運行単価が4,400円/時、入広瀬コミュニティ

バスが4,315円/時で、事業者とほぼ同水準である。事業者が出来る金額で運行しても何もならないので、コミバスについては出来るだけの経費削減が必要ではないか。

○佐藤会長（魚沼市長）

・当初の計画と少しずれているのではないかと言うことであるが、これからの課題としたい。

○樵沢委員（入広瀬コミュニティ協議会）

・利用者のメリットは向上しているし、利用者増加により一人当たりの運行経費については、昨年より若干減少している。その辺をどう思われるか。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・一人当たり、それぞれの経路線では、これよりも経費が掛かっているところはある。1時間当たりの運行経費のことを言っているのだが、コミバスへの補助金は、経費が掛かった分については青天井になるのか。

○会長（魚沼市長）

・補助金が青天井と言うことではなくて、地域コミュニティバスとして、入広瀬地域を自分たちのコミュニティのひとつとして作って行きたいということが、まずひとつあったと認識している。そう言った中で、経費をできるだけ安くということが本来の形であろうが、会員加入率が約5割ということであり、補助金への影響があると言える。事業者へ運行を任せるのと地域コミュニティづくりを比較しながら、コミュニティの力をしっかりと作っていくということが、まちづくりの基本であると思っている。事務局もそのことを意識しながら数値的なものを含めて、地域づくりと公共交通をすり合わせていく必要があるのではないかと思う。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・コミバスの意義、一生懸命に運行していると理解している。業者は1時間当たり貸切9,500円の認可を受けている中で、4,400円の時間単価で業者も一生懸命乗合タクシーを運行していることを分かっていたら、もう少し市の方からアップしていただければと思う。

3) (資料No.3) 市役所移転に伴う規約の改正について

【報告3について説明（事務局）】

【質疑意見等 なし】

4) その他

【特になし】

4. 議 事

1) (資料No.4) 令和元年度協議会事業報告及び決算について

【議事1について説明（事務局）】

【会計監査報告（監査員）】

【質疑意見等 なし】

【採択】承認

2) (資料No.5) 生活交通確保維持改善計画（フィーダー系統）（案）について

【議事2について説明（事務局）】

【質疑意見等】

○大田委員（新潟運輸支局）

・事務局からも説明があったが、確保維持改善計画が承認されますと国土交通省の方に提出いただき、補助金の認定手続きに入るという流れになっている。これから所定の審査を経ることになるが、場合によっては数値等の修正が若干発生するというケースも見られるので、それを含めて了承をいただきたい。

○塩入委員（南越後観光バス株）

・意見ではないが、私どもは越後交通から分割した会社で、越後交通が持っていた路線バスを引き継いでいる。フィーダー系統の中にあるとおり、路線バスを補完して少ない移動需要に対応する生活交通として乗合タクシー、入広瀬コミバスということで皆さんが頑張っていると承知している。私どもの乗合バスは、維持していくことが中々難しいところに来ている。利用者が少ない路線については、国県の補助金がカットされている。小千谷線、栃尾又線、六日町線の3路線が該当している。会社か自己負担しているので、今年の10月或いは来年からご協力をいただければ、なんとか維持して行きたいと思っている。

○佐藤会長（魚沼市長）

・この路線には、医療機関の関係もあるので市民には情報としてこのことを伝えて行く必要がある。このことも含めて事務局から努力をいただきたい。

【採択】承認

3) (資料No.6) 地域公共交通計画の策定について

【議事3について説明（事務局）】

【質疑意見等】

○会長（魚沼市長）

・事業者ヒアリングのスケジュールを、計画の骨子を協議前とするべきではないか。高校生も夏休みに入るので、なるべく早く実施してアンケートを回収してほしい。

○事務局

・事業者ヒアリングのスケジュールを見直し、骨子の協議前に行いたい。

○宮腰副会長（長岡工業高等専門学校）

・市報で、意見を募集することができないか。事業者ヒアリングでは、実際に乗務されている方が利用者に接していて、状況をよく把握されている。その辺のヒアリングも加えて実施してほしい。市の総合計画でもアンケートが来ていると思うので、それも含めて整理をしてまとめ行くのが良い。

○佐藤会長（魚沼市長）

・市長への手紙の中にも、高齢者の方から、「乗合タクシーを廃止しないでほしい」とい

う声 coming しているし、紙ベースと言うかそういった部分も必要と思う。パブコメも市報には載るがコメントを出すときはネット上となってくると一般的にコメントが入ってこないということにもなるので、高齢者のみなさんが意見を出しやすい環境の中でやっていくこともひとつと思う。8月28日をターゲットにしないで、8月28日は第1回目のアンケート集計で分析をして、第2回で大方全体の集計をして行くといった考え方もできるので、事務局の方でスケジュールの設定をしてほしい。

【採択】承認

4) その他

【特になし】

5. その他

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・小出駅前のライン引きはいつ頃になるのか。

○事務局

・小出駅前には、19時半頃の通学時間帯に送迎車で特に混雑する。こう言った車両の通行の流れ、交通整理について警察に相談している。送迎車両が小出駅前を時計回りに入って出ていくような誘導方法を取れるように、看板の設置であるとか区画線について警察からご指導をいただいている状況である。そう言ったことを含めてのライン引きを考えているが、時期は未定である。なるべく早めに行きたい。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・去年から出ている話で、駅前のタクシープールのラインが消えている。小出駅前では、一般車両の無秩序な移動や駐車で、接触事故の一手手前である。私どもも15台分のタクシープールを8台分に減らして協力しますので、一日も早く、大きい事故後起きる前にしてほしい。

・福祉タクシー券が介護福祉課から出されている。4月から100円券になったが、乗合タクシーにも使えるという説明を市から受けたというトラブルがあった。免許返納共通回数券では、路線バス・タクシー・乗合タクシーで使える様になっている。福祉タクシー券を100円券にしたのだから、どこでも使える様な券にしたらどうか。

○会長（魚沼市長）

・利用者が利用しやすい環境づくり、タクシーさんの手間にならないように福祉と交通担当で連絡を取り合って進めてほしい。

6. 閉 会

閉会あいさつ（佐藤会長）

【別紙】

令和2年度第1回(第29回) 魚沼市地域公共交通協議会 出欠名簿

(敬称略)

No.	所 属 等	氏 名	代理出席等	備考
1	魚沼市長	佐 藤 雅 一	○	会 長
2	東日本旅客鉄道株式会社 浦佐駅長	山 崎 明 彦	欠	
3	南越後観光バス株式会社	関 正 太	代理：塩入 誠司	
4	魚沼市タクシー協会 会長	小 島 由紀子	○	
5	ひかり交通株式会社 代表取締役	渡 辺 恵 介	代理：山本 学	
6	入広瀬コミュニティ協議会 会長	柁 沢 一 彦	○	
7	国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課 課長	長 谷 川 孝 志	○	
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部 副部長	宮 嶋 孝 吉	○	
9	魚沼市産業経済部 副部長	星 政 晴	○	監査員
10	新潟県小出警察署 署長	松 川 寛 治	代理：丸山 耕二	
11	堀之内連合区長会 会長	波 方 稔	○	監査員
12	小出四日町区連合自治会 会長	磯 部 三 千 夫	○	
13	湯之谷地区自治会連絡協議会 会長	内 田 一	○	
14	広神連合自治会 会長	青 山 春 彦	○	
15	守門地区囀託員会 会長	佐 藤 健	○	
16	入広瀬区長会 代表	浅 井 作 松	欠	
17	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 教授	宮 腰 和 弘	○	副会長
18	国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課 課長	佐々木 凜太郎	欠	
19	国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官	大 田 尊 博	○	
20	新潟県魚沼地域振興局企画振興部 地域振興課 課長	貝 瀬 明	○	
21	新潟県立小出高等学校 校長	梶 良 成	欠	
22	魚沼市老人クラブ連合会 会長	佐 藤 喜 郎	○	
23	魚沼市地域自立支援協議会 会長	井 口 正 博	○	
24	日本労働組合総連合会新潟県連合会 中越地域協議会 議長	矢 島 良 彦	代理：加藤 正	
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課 課長	戸 田 千 穂 子	○	